

2017年度 福島県新地町「防災緑地植樹祭」ボランティア募集要項

福島県新地町は、2011年3月11日の東日本大震災によって甚大な被害を受けた地域の1つです。本学は同町の復興を支援するため、2012年1月に震災復興支援に関する協定を締結しました。

この協定に基づき、復興にむけた夏祭りへの学生ボランティア派遣や、被災により学業が遅れた子供たちへの学習支援などを実施しています。

このたび、同町において被災した沿岸部の復興を目的とした防災緑地予定地での「植樹祭」を行うにあたり、学生ボランティアを派遣しますので、以下のとおり参加者を募集します。



1. 活動概要

(1) 防災緑地植樹祭について

新地町では、特に被害の大きかった太平洋に面した沿岸部の釣師地区において、津波の被害を軽減するための防災緑地の整備をすすめています。この防災緑地は、防災機能だけでなく、人々が集い子供たちが笑顔で楽しく遊べる場、震災の記憶を後世に伝える場など、町の新たな海辺の賑わいの拠点とするため、町民とワークショップ形式で検討を重ね住民協働による緑地づくりを進めています。

このたび、この防災緑地での「植樹祭」を2018年3月25日(日)に開催するあたり、本学に運営協力依頼がありました。

《参考：新地町ホームページ(2014年度の植樹祭「どんぐりプロジェクト」の様子)》

<https://www.shinchi-town.jp/site/fukkou/choshi-shokujusai.html>

《釣師防災緑地予定地》



(2) 活動内容

【日程】 3月24日（土）～3月25日（日）

【場所】 新地町役場（24日）、釣師地区「植樹祭」（25日）

【内容】 新地町の震災状況及び復興状況を学ぶとともに、本事業の目的を理解するためのレクチャー、担当業務打ち合わせ、準備、植樹祭業務協力

《当日の業務》

本学学生ボランティアに求められていることは、苗木を植樹することではありません。運営補助として、次の内容について事業協力する予定です。

- ・本部、受付、救護、ふるまい給仕など、各ブースのサポート
- ・開会行事など、式典進行のサポート
- ・来場者誘導、駐車場整理のサポート

※現場責任者の指示に従って、業務に従事してください。

※業務終了予定時刻は、13：00です。（解散は14：00を予定）

(3) 移動（交通手段）

【往路】 大学が手配するバスを利用。出発時刻に間に合わなかった場合は自費で現地に来ること。

3月24日（土）駿河台キャンパス リバティタワー前 午前8：00出発

（7：50集合【厳守】） ⇒新地町着（13時頃）

※常磐自動車道を利用します。

※友部サービスエリアで休憩をとります。また、道路状況により到着時刻は前後します。

【復路】 業務終了後に「植樹祭」会場で解散します。各自で交通手段を手配して帰宅してください。

（参考）おもな帰京経路と概算費用の目安を以下に示します。

1. 常磐線利用

新地駅（JR常磐線）→原ノ町駅 →浪江駅（常磐線代行バス）→富岡駅（JR常磐線）→いわき駅→日立駅（JR常磐線・ひたち）→東京駅

【参考】〔新地駅15：31発 → 東京駅20：43着（運賃8,120円）〕

2. 東北新幹線利用

新地駅（JR常磐線）→仙台駅（JR東北新幹線）→東京駅

【参考】〔新地駅15：08発 → 東京駅18：04着（運賃11,940円）〕

3. 深夜バス利用

新地駅（JR常磐線）→仙台駅（夜行バス）→大宮、新宿など着

【参考】仙台駅23時頃発→翌朝5時前後着

※バス会社が複数あります。（6千円～8千円程度）

※記載の交通手段は一例です。解散時刻から余裕をみた条件設定での行程です。

※費用は正規料金を記載していますが、学割証などを利用することで割引料金となることがあります。

(4) 宿泊

以下のいずれかを希望できます。希望を「参加申込書」に記入してください。

【選択①】 新地町が提供する公共施設を利用。(ホテルや民宿等宿泊を目的とした施設ではありません)

施設：新地町農村環境改善センター（施設内の和室を利用予定）

宿泊条件：男女別、空調あり、食事は各自（近隣にセブンイレブン、スーパーマーケットあり）、寝具は大学がレンタル品手配、入浴は徒歩5分程度の公共入浴施設「老人憩いの家」利用（利用者は翌朝までに清掃が必要）、翌25日は会場まで徒歩移動（2km程度）。

【選択②】 新地町からの呼びかけによって受け入れを承諾した一般家庭に宿泊。

目的：学生たちが町の方と寝食を通じた密な交流を行い、本行事が終わった後も新地町を再訪するきっかけとなるように、ホームステイさせていただく機会をいただきました。

受入数：4軒（予定）

宿泊条件：各家庭につき原則2名以上で宿泊（宿泊者の組み合わせは大学が設定）、食事付、風呂・寝具借用可、翌25日は会場まで自動車で移動。

※希望者数が受入可能者数を超えた場合は、抽選で宿泊者を決定します。抽選にもれた場合、「農村環境改善センター」に宿泊となります。

※受入先の都合により、1名での宿泊となる場合があります。

※各家庭の厚意によるホームステイであることをよく理解し、明大生としての誇りをもった行動を心掛けてください。

2. 実施スケジュール

【参加者ガイダンス】

日時＝3月14日（水）17：30～19：00（予定）

場所＝駿河台キャンパス アカデミーコモン11階311E教室

内容＝参加者顔あわせ、行程確認、担当業務・配置場所決定 など

※参加が決定した場合は、必ずこのガイダンスに出席してください。

【全体行程】

3月24日（土） 7：50 集合【駿河台キャンパス リバティタワー前】

8：00 駿河台キャンパス出発

13：00 新地町到着（バス車内で昼食＝各自で準備して乗車）

13：30 新地町被災状況と復興状況のレクチャー
事業内容等説明、打ち合わせ

15：00 宿泊先へ

3月25日（日） 8：00 集合【植樹祭会場（各自、朝食は済ませておくこと）】

8：30 担当場所への配置、活動開始（10：00開会）

13：00 植樹祭閉会

14：00 解散

※休憩は、担当業務ごとに責任者の指示に従い適宜とってください。

また、昼食は各自で会場内の出店を利用してください。

3. 応募方法

【募集人数】 最大20名（ボランティア未経験者も歓迎します）

必要事項を記載した「参加申込書」をEメールで送信してください。応募者が定員を上回った場合は、提出書類を総合的に判断し、参加者を決定します。参加可否は、2月6日（火）にOh-o! meijiで通知します。

申込先 Email fukkou@mics.meiji.ac.jp

件 名 新地町植樹祭ボランティア参加申込み

応募締切 2月2日（金）17時必着

応募条件 ①3月14日（水）の参加者ガイダンスおよび3月24日（土）～25日（日）の現地活動に参加できること。

②未成年者は、保護者の同意が得られること。

③当日は厳しい天候（降雪、強風、寒さなど）の可能性があるほか、担当場所によっては半日以上、座ることができない状況も予想されるため、健康で体力にある程度の自信があること。（「参加申込書」の内容に応じて、配置には配慮します）

【募集ガイダンス】 本活動の目的や内容、滞在中の生活環境などを紹介します。

日 時=1月31日（水）14:00～（30分程度）

場 所=駿河台キャンパス アカデミーコモン11階 311E教室

4. 参加費用

帰りの交通費、現地での食事代、その他の諸費用について、各自の負担が必要です。

5. ボランティア活動保険への加入（必須）

本ボランティア活動参加にあたっては、社会福祉協議会のボランティア活動保険「天災コース」に必ず加入してください。

保険の種類は、「全国社会福祉協議会」取り扱い2種類（Aプラン：500円、Bプラン：710円）、「東京都社会福祉協議会」取り扱い3種類（Aプラン：600円、Bプラン：1000円、Cプラン：1400円）があります。なお、2017年度に加入した場合の保険の有効期限は、2018年3月31日までです。

詳細は以下のURL（明治大学ボランティアセンター）をご覧ください。

https://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/copy_of_insurance.html

6. 撮影等について

この活動について、大学及び各種報道機関等による取材・撮影が行われる場合があります。この記録については、明治大学ホームページなどに掲載することがあります。

【問い合わせ先】

明治大学 社会連携事務室 震災復興支援センター（駿河台キャンパス アカデミーコモン11階）

電話 03-3296-4412 メール：fukkou@mics.meiji.ac.jp 平日 9:00～17:00（土曜・日曜・祝日は閉室）